

東北地域タマネギ栽培セミナー2026  
東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム公開セミナー<sup>（令和7年度農研機構東北農業研究センターADBバイザリーボード（園芸））</sup>  
開催要領

**1. 開催主旨**

国産タマネギの周年供給力の強化に向け、夏季の端境期出荷が可能な東北地域等への新たなタマネギ産地の拡大に期待が寄せられている。これに対して東北地域のタマネギ生産拡大に向け、「東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム」が設立され、東北地域でのタマネギ生産に取り組む生産者も増えてきている。しかし、東北地域のタマネギ生産は、地域に適した品種が少ない、定植・収穫作業の適期が北海道や西日本よりも短く、大規模になるほど適期作業を行うことが難しく、新規就農者が参入するハードルも高い。これらの課題に対応するために、本セミナーで東北地域に適した品種の開発状況について紹介し、あわせて安定栽培に必要な技術開発について報告し、東北地域におけるタマネギ栽培の発展方向について議論する。

**2. 開催日時** 令和8年1月16日（金）13:00～16:30

**3. 開催場所** いわて県民情報交流センター「キオクシアアイーナ」7階 アイーナホール  
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

**4. 共 催** 農研機構東北農業研究センター、東北地域農林水産・食品ハイテク研究会、  
東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム

**5. 定 員** 400名（オンライン配信は行いません）

**6. 内 容**

司会 農研機構東北農業研究センター 事業化推進室 柴 伸弥

1)挨拶 13:00-13:20

農研機構東北農業研究センター 所長 若生 忠幸  
みらい共創ファーム秋田 代表 涌井 徹

## 2) 東北向けタマネギの品種開発

(1) 「東北向けタマネギの育種」×「気候の変化に対応した栽培法のアップデート」

13:20-13:50

株式会社渡辺採種場 育種課長 山薦 翼

(2) 東北農業研究センターで開発した加工・業務用タマネギ品種について 13:50-14:20

農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 研究員 奥 聰史

## 3) 東北農業研究センターにおける研究開発状況

(1) 東北の秋まき作型における苗づくりの個別差とその要因 14:20-14:40

農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 研究員 稲葉 修武

(2) 病名・病徵・農薬登録により難防除化しているタマネギ腐敗 14:40-15:00

農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 上級研究員 達 瑞枝

(休憩 15:00-15:10)

4) パネルディスカッション 15:10-16:30

座長 農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域長 塚崎 光

## 7. 参集範囲

農研機構東北農業研究センターアドバイザリーボード委員、農林水産省、東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム会員、生産者、農業関係団体、行政機関、普及指導機関、試験研究機関、民間企業、農研機構、その他主催者が必要と認める者

## 8. 事務局 〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

農研機構東北農業研究センター 研究推進部事業化推進室 田宮・木下

TEL : 019-643-3412 または 3460、FAX : 019-641-7794

e-mail: onion2026@m1.affrc.go.jp

## 9. その他

参加申し込みについては農研機構東北農業研究センターのホームページで案内する。